

始業式にピアノを弾いてくれた6年生4人の子に、綴り方を書いてくるようお願いした。3日間かけて、順番に書いて見せに来てくれた。書いた子の前で、素敵だなと思う表現に花丸をつけながら読んだ▼昨日、少しおもしろかったのは、4人そろってきてくれたことだ。しかもすでに読ませてもらった自分のノートを持って。綴り方を読ませてもらった後には、その綴り方を読んで思い浮かんだ言葉を一言書き添え、少しお話をした▼4人それぞれに心の内を綴ってくれていたが、4人に共通していたのは「仲間がいたからがんばれた」と綴っていたことだ。連弾で弾いたから、励まし合えたこと。一緒に歌ってくれた友だちがいたこと。仲間ではないが、教えてくれた先生がいたこと、感謝の気持ちを交えて綴ってくれた▼仲間と一緒に頑張れた。学校の一つの価値だ。あなたは一人じゃない、周りには素敵な仲間がいる▼チャレンジ作品展最終日、ぎりぎりで見に行くことができた。ある子の感想に「去年は、お家の人にいっぱい手伝ってもらったけど、今年は、一人でやり切った」と書いてあった▼物事を成し遂げていくプロセスの中で、助けてもらうこともあれば、一人でがんばることもある。あなたは、一人じゃない、でもあなたは一人。チャレンジとは何かを成し遂げようとする。一人でも仲間（お家の人）とでも。それが選べる環境が心地よい。